

事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	2 交流を支える地域を創出する	事業群主管所属	企画振興部スポーツ振興課
施策名	(2) 文化・スポーツによる地域活性化	課(室)長名	井上 和広
事業群名	④ 地域密着型クラブチーム等の活用や「わがまちスポーツ」による地域活性化・交流の推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

V・ファーレン長崎を活用し、サッカーによる新たな国際交流の展開、ホームゲーム・アウェイゲームでの観光物産等のPRIにより長崎県の知名度向上を図るとともに、青少年の育成に取り組みます。また、「わがまちスポーツ」の定着支援などにより、地域活性化と交流を推進します。

- ・地域密着型チームの支援
- ・地域密着型チームを活用した国際交流の推進及び青少年の育成
- ・地域密着型チームを広報媒体とした県政の広報・PR
- ・国体等の成果を活用しながら市町が取り組む「わがまちスポーツ」の地域密着を支援

事業群指標	最終目標(H32)	基準値(H26)	実績(H27)	達成率	【進捗状況の分析】
市町とV・ファーレン長崎との連携によるイベント等回数	155回	78回	104回	-	V・ファーレン長崎を地域活性化のために活用する市町への支援により、5年後に市町との連携イベント等の倍増を目指すこととしており、平成27年度は、長崎市27回、佐世保市6回、諫早市32回、大村市10回など各市町でイベントが開催され、イベント参加者数も約50,000人となり、平成26年度の基準値より増加した。
事業群の進捗状況	-				

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

《取組項目及び現状と課題》

i) V・ファーレン長崎等を活用した地域づくりを推進するための取組

- ・本県唯一のプロサッカーチームであるV・ファーレン長崎を県民みんなで応援するために、県及び県内市町で構成する「V・ファーレン長崎自治体支援会議」を中心に、観客数の増加につながる県民・市民応援デーの開催などホームゲームを盛り上げるイベントを開催し、チームを応援する機運の醸成を図ったところである。
- ・J1昇格に向け、クラブの経営基盤の安定化及び強化を目的にホームゲーム開催時の施設使用料の減免相当額の助成を行い、スポーツを活用した地域活性化を推進しているところであるが、引き続き経営基盤の安定強化のための支援が求められる。
- ・県民アンケートの結果では、チームを応援している県民は約47%であったが、県民の約85%がV・ファーレン長崎の試合に観戦に行っていないとの結果であったことから多くの県民を観戦に行きたいと思わせるようなPR方法やチームを活用したイベントの開催などの集客対策を行い、引き続き県民みんなで応援する機運の醸成を図る取組が求められる。

ii) 「わがまちスポーツ」として定着化を図る市町が取り組む事業に対する支援

- ・国体等の成果を維持発展させるため、各市町で開催された競技やスポーツ行事を「わがまちスポーツ」として根付かせることを目的に、平成27年度は、松浦市において、なぎなた競技をわがまちスポーツと認定し、道具の購入や教室の開催などの取組に支援を行い、交流人口の拡大と生涯スポーツの振興を図っているところである。
- ・平成28年度は、松浦市に加え、新たに川棚町にて事業着手予定となっており、「わがまちスポーツ」として定着化させるため、国体選手等トップアスリートを活用したスポーツ教室の開催やスポーツ合宿の誘致、スポーツ用具の購入など市町が実施する取組を引き続き支援することにより、地域スポーツの推進及びスポーツによる地域づくり並びに地域の活性化につなげていくことが求められる。

2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率		
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—			
取組項目 i	「スポーツ・夢づくり」推進事業	H19-	14,889	14,889	8,056	(株)V・ファーレン長崎	J1リーグ昇格を目指すV・ファーレン長崎をサポートするため、クラブの経営安定化を目的とした競技場使用料軽減などの支援を行うとともに、県民応援DAYなどの県内市町と連携した集客対策を行った。	活動指標	県の広報媒体を活用したホームゲーム観戦呼びかけ回数(回)	—	8	—	県と全市町が連携した県民応援デーを開催し、観客数の増加につながっているところである。 また、競技場の使用料軽減を行ったことにより、V・ファーレンの財政支援に寄与することができた。	○
	スポーツ振興課		17,076	17,076	6,452			成果指標	V・ファーレン長崎のホームゲーム(試合平均観客者数(人))	4,839	5,093	105%		
取組項目 ii	「わがまちスポーツ」推進事業	H27-30	994	994	2,417	市町	平成26年度に開催した国体等の成果を維持発展させるため、各市町で開催された競技やスポーツ行事等を「わがまちスポーツ」として定着化させる取組を支援することにより交流人口の拡大や地域スポーツの活性化を図った。	活動指標	市町の計画進捗状況の確認・情報交換などの現地訪問回数	—	2	—	松浦市において、なぎなた競技をわがまちスポーツと認定し、道具の購入や教室の開催などを取組を支援した結果、松浦市の全中学校(7校)において、武道必修化の種目として「なぎなた」活用に至った。	○
	スポーツ振興課		3,000	3,000	807			成果指標	「わがまちスポーツ」を設定した市町数	2	1	50%		

3. 検証及び問題点の抽出

【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

<p>i) V・ファーレン長崎等を活用した地域づくりを推進するための取組</p> <p>・V・ファーレン長崎等を活用した地域のPRやにぎわいづくりを推進するため、県・市町で組織する「自治体支援会議」を設置し、ホームゲームにおける集客対策として、県民応援デーを開催し、チームの魅力・試合開催のPR、観戦の呼びかけなどを行ったところ、観客数は、2015シーズン平均5,093人に対して、2016シーズンは5,159人(平成28年6月19日現在)と昨シーズンを上回るペースであるが、さらなる集客を図る必要がある。</p> <p>・V・ファーレン長崎の活躍は、県民に大きな感動を与え、県民の一体感や郷土愛を育む機運の醸成が図られ、またトップレベルの選手等によるスポーツ教室などの交流事業はスポーツを通じた青少年の健全育成につながる。さらに全国で活躍するチームを活用し、本県の観光・物産のPRを行うことで、さらなる地域のにぎわいづくりや交流拡大等が期待できるため、今後もクラブの経営安定化に向けた支援が必要である。</p>
<p>ii) 「わがまちスポーツ」として定着化を図る市町が取り組む事業に対する支援</p> <p>・わがまちスポーツを定着させるため、国体選手等トップアスリートを活用したスポーツ教室の開催やスポーツ合宿の誘致、スポーツ用具の購入などを行い、地域スポーツの推進及びスポーツによる地域づくり並びに地域の活性化を図ってきたところであるが、スポーツ教室や大会のスタッフなどへのスポーツボランティアの活用等について、地域・団体等と密に連携していくことで、スポーツを「する」だけでなく、「観る」「支える」多様なスポーツ活動につなげていく必要がある。</p>

4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】	【個別事務事業の見直し】			
	事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
i) V・ファーレン長崎の運営基盤の強化を図るため、引き続き、財政的な支援を行っていく必要がある。また、県民みんなで応援するため、「V・ファーレン長崎自治体支援会議」を中心に、観客数の増加につながるイベントを開催するなど県民みんなで応援する機運の醸成を図る必要がある。	「スポーツ・夢づくり」推進事業	②⑤⑥	V・ファーレン長崎を応援する県民や観戦者の増を図るため、これまで行ってきたスポーツ教室などの地域行事への参画やV・ファーレン長崎による地域貢献活動に加え、新たにV・ファーレンと連携し、トップ選手やマスコットを活用した県の観光・物産のSNS等による情報発信や地元選手の育成に対する支援など、県民の興味・関心を高める取組を検討していく。	改善
ii) 国体・大会の開催種目から市町が選定した「わがまちスポーツ」普及・定着につながる取組を支援し、引き続き、市町が策定する事業実施計画のスケジュール管理を行い、進捗状況を把握し、交流人口の拡大と生涯スポーツの振興を図る。	「わがまちスポーツ」推進事業	②⑤	国体等の開催を契機として高まった県民のスポーツへの関心を継続させ、スポーツの習慣化を図るため、「わがまちスポーツ」として取り組む市町と連携し、より地域に根付かせるための取組を進めていく。	改善